

## 事後評価シート

調査研究課題名	地域交通における自転車の活用に関する調査研究
担当者	総括主任研究官 増田直樹、研究官 井上延亮
①当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、高い利便性を有する自転車を公共交通機関である鉄道の端末交通として利活用すれば、「鉄道利用者の利便性向上」や「鉄道の活性化」につながることを明らかにし、さらには鉄道と自転車の連携を図っている鉄道事業者等へ情報を提供するために取り組んできたものである。</p> <p>既存の統計資料から駅周辺における自転車利用について整理し、その方策としてレンタサイクルを取り上げた。さらに、レンタサイクル利用者や駐輪場利用者へのアンケート調査等から駅レンタサイクルの利用実態や導入効果を確認することができ、当初の目的を達成することができた。</p>
②調査研究内容の妥当性	<p>レンタサイクル事業として、長年の実績がある事業者を選定し、事業の成功要因や課題を抽出した。レンタサイクル利用者だけでなく、ポートに併設もしくは近接した駐輪場の利用者にもアンケート調査を実施し、レンタサイクル利用者との比較を行った。また、調査票の質問数や質問内容を工夫することにより、高い回収率を確保した。</p>
③調査研究の仕組みの妥当性	<p>アンケート調査前と調査後のデータ分析時に、学識経験者から様々な意見を聞き、的確な示唆を受けながら調査研究を進めることができた。</p>
④成果と活用	<p>調査研究に協力いただいた事業者へフィードバックするとともに、当研究所のホームページ等で公表する。また、鉄道事業者に調査結果を送付し成果を有効に活用してもらう。</p>
⑤その他	<p>PRI Review 第39号(2011年冬)、第40号(2011年春)に掲載  プレスリリースの実施(平成23年4月14日)  交通・運輸関係調査機関等発表会(国内関係)(平成23年5月17日)にて発表  運輸審議会(平成23年5月19日)にて報告</p>